



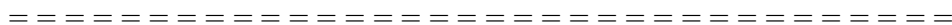
地域日本語支援ニュース こだま 第 314 号

2017.3.9



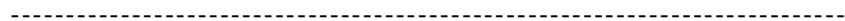
★—メールマガジンをお読みいただき、ありがとうございます—★

【地域日本語支援ニュース こだま】は、日本語教育に関する事業を全国で行っている公益社団法人国際日本語普及協会(AJALT)発行のメールマガジンです。各地域で在住外国人に対する日本語・生活支援に携わっている方々に役立つ情報の共有を目指していきます。

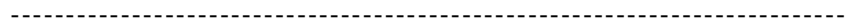


■ともに生きる

ある留学生たちの「ちょっと一言」



2013 年春、日本語学校を経て東京の大学に入学した中国からの男子留学生、李翔さん、楊勝強さん、童民さんが数カ月経ったころ書いた日本の印象「ちょっと一言」をご紹介します。李翔さんには、卒業を間近にした現在の一言も書いていただきました。3 人は今、まさに社会に飛び立とうとしています。



●お洒落と健康

李 翔

日本は夏と冬しかないと感じています。なぜかいうと、それは日本人が着ている服装が原因です。

お洒落になりたいからかもしれませんが、冬に薄い服や短いスカートを着用している女性が沢山います。寒い冬に何枚もきている私には、よく理解できません。日本の服の店でもそうですが、冬なのに、まだ薄い服を販売しているとか、夏ではないのに、次の季節の 2 カ月前に、その季節の服を売ることが多いようです。

今日本にいる私は少し原因が分かってきました。日本では冬になると、バスや電車、大部分の店が暖房がついていますから、ですから、寒い冬でも薄くてお洒落な服が着られるのです。また外でもホッカイロというものを服やズボンの裏に貼って、自動に発熱できるのです。

昔に親から、日本人は冬でもお洒落な薄い服を着たり、女子高生も短いスカートを着たりすることで、年をとると、膝が痛くて、または変形する可能性があるという話をききましたが、現代医療や福祉などのおかげで、このようなことも解決したのでしょう。

●何が重要？

楊 勝強

私は中国の洛陽から日本に来た。もうすぐ二年半だ。日本語が上手に話せるようになりたいなら、まず日本人の考え方を十分に理解することが必要だと思っている。

たとえば、他人の誘いに対して、自分が行きたくない時、日本人は「今日ちょっと」と言う。友達でも自分の本音をいわない。

また、日本の住宅街の人々の交流はあまりない。だから、住宅街の道はいつも静かである。中国ではじいさん、ばあさんが暇なときよく外の道や公園で集まって、いろいろなことをする。だから人々の関係がとても密だ。どこでもとてもにぎやかで温かさを感じる。

日本は中国より裕福だ。物の品質やレベルは中国よりいい。でも、日本人はいつも忙しい、疲れている感じがある。中国人はそんなに裕福ではないが、生活は日本人と全然逆であまり忙しくない。ストレスもあまりない。

これが私の感じた日中の違いだ。

●礼儀を重んじる日本

童 民

私が来日して、間もなく二年が経つ。この間目を見て、身で感じたことがたくさんあった。もっとも気に入ったのは、日本は礼儀を重んじる国であるという点だ。なぜ日本人はマナー、礼儀をそんなに大切にしているのか？ 日本では普通の店に行っても、バスに乗っても、いつも優しい声をかけてくれる。特に社会人の間では、尊敬語はもちろん、お礼もちゃんとする。

私が住んでいる中国は何千年前、特に唐の時代は、外国から礼儀大国と呼ばれた国である、言葉遣いやマナーの正しさは全世界で敬服されていた。それなのになぜ今の中国では、これらの正しいマナーを守っている人がそんなに少ないのか？

国の経済がいくら発展しても、国民が礼儀を忘れたら、その国は強いとは言えないだろう。

◆◆李翔さんの現在の一言◆◆

大学入学のため千葉県から東京に来た最初の頃は、東京の全てが新鮮だった。そして今、東京、さらに日本に対する新たな認識、それは「どの国でもいいところと悪いところがある」ということだ。

歌舞伎町でのバイトが原因かもしれないのだが、この四年間に、自分はいろんな人と出会った。バイト中に自分の名札を見て「支那人帰れ！」と言った初対面のおじさんがいた。一方で、運転免許更新の時に、ギリギリ間に合ったところで、お金が足りなく、近くの ATM に行って戻ったら間に合わないという時に、お金を貸してくれた親切なおばさんもいた。大学のゼミの先生も同じことを言っている。「もう四年間日本にいたことで、きっと日本のいいところと悪いところがわかっているはず」

自分は常に母国にいる友達に「日本でもこのようないいところがあるんだよ、日本のこんなところがだめ」と解説してあげている。今の中国は日本に対して、すごく極端な気持ちがある。ある人はアニメ、ドラマなど日本語を学び、日本をとんでもない大変良いところだと思っている。一方、歴史の原因もあって、日本を鬼にし、変態が多く、すべての日本人を敵だと思っている人もいる。この人たちに、日本に対する新たな認識を教えたいと思っている。
